

蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会 第1回協議会 議事録概要

日時	令和5年11月29日(水) 18:00~19:30
場所	室蘭市役所 本庁舎 議会第一会議室
出席	別紙出席者名簿のとおり  市教委：伊藤教育長、坂口教育部長、太田教育部次長、入村教育指導参事、棟方指導主事、山本指導主事、山口学校教育課長、山本学校教育課教職員係長、船橋総務課長、菊地主任、吉田主事補
内容	<p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次第</li> <li>2. 蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項(案)</li> <li>3. 蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会 委員</li> <li>4. 蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会 開催計画案(R5.11.29 策定)</li> <li>5. 室蘭市これからの学校づくり指針策定までの経過</li> <li>6. 「室蘭市これからの学校づくり指針」の策定について</li> <li>7. これからの学校作り検討イメージ図</li> <li>8. 令和5年度から令和20年度までの推計(全小中学校)</li> <li>9. 令和5年度 小中学校児童・生徒数の推計</li> </ol> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育長 挨拶</li> <li>2. 委員紹介(事務局から)、事務局職員自己紹介</li> <li>3. 市教委からの説明(これからの学校づくり指針、児童生徒推計等説明)</li> <li>4. 意見交換</li> </ol> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項(案)」の承認について &lt;異議なしにより承認&gt;</li> <li>2. 会長・副会長の選出について 「蘭中地区、蘭西地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項」第5条により会長、副会長を互選とし、会長に中央地区青少年健全育成推進協議会の「川合 徹」、副会長に港南町会の「前野 延康」が選出され、承認となる。</li> <li>3. 市教委からの説明 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「これからの学校づくり指針」：船橋総務課長説明</li> <li>2) 児童生徒推計等説明：船橋総務課長説明</li> </ol> </li> <li>4. 質疑応答・意見交換</li> </ol> <p>○先ほど児童生徒の減少の数字について説明がありましたが、子どもたちの数が減っていることは皆さんもご承知のことだと思いますが、令和20年度までの数字を見ると、やっぱりこんなに減っていくんだなというふうにも実感させられました。子どもたちにとってどういう環境がいいのか、協議会で話をしながら子どもたちのことを第一に考えて良い方針をまとめられたらいいなと思っています。今後、皆さんと検討しながら答えを見つけたいと思います。以上、個人の感想です。</p>

○個人的な話になりますが、私は成徳中学校を卒業しているので、先ほどの説明を聞いて寂しい気持ちがあります。しかし、これが現実だとも思います。既に義務教育学校は各地でできていて、子どもたちが集団で、学校でしかできないことをできる環境を作れば良いと思っております。メリット・デメリットについても知人から良く耳にしており、中学校同士、小学校同士の統合でも、私のところの学校は現在7学級ですけど、統合により規模が大きくなれば活動の幅も広がりますし、今この場でどのような案が良いかは示せませんが、ひとつ言えることは、子どもたちが学校らしく楽しく過ごせる形、地域の方々が安心して送り出せる形がいいんじゃないかと思ひ、今は皆さんのご意見を聞いてみたいと思っています。

○地域の方々は学校に思い出もあり、様々な考えもあると思いますので、蘭中地区、蘭西地区から学校がなくなるという方向性は望まないのではないかなと思います。義務教育学校や、小学校、中学校同士の統合など、色々な形があると思いますが、何れにしても、地域の意見を受け止めながら、より良い方向を探っていくのがよろしいのかなと考えております。

○先ほどの事務局説明では、いくつかのパターンの案がありましたけれども、それぞれメリットやデメリットがあると思うので、それらを考えながら、協議の回数を重ねていき、だんだん方向性が見えてきたときに、そのデメリットをどのように解決していくかというようなことを話し合い、皆さんの意見を聞きながら、方向性がまとまっていけばいいな、と思ってお話を聞いていました。

○私の家も、武揚小学校のグラウンドの真前なので、小学校があった頃は、中休みや、昼休み時間は子どもがいて賑やかでした。閉校後は子どもをあまり見ることがなくなりました。現在は体育館だけは残っています。私が成徳中学校のPTA会長をやっていたときに、あと1年で北辰中学校閉校となるとのこととていろいろ問題もありました。本当は「室蘭中学校」という校名にしたかったのですが、反対意見があり、「西」がついてしまい「室蘭西中学校」という校名になりました。いろいろな問題はあるかと思いますが、地域に密接した学校が各地区にあれば良いなと思っています。

○単純な質問なんですけど、今現状としてもし万が一、室蘭中学校と地球岬小学校が統合した場合、校舎はどちらの方に考えているのか、みなと小学校と西中学校、みなと小学校と地球岬小学校、室蘭中学校と西中学校がそれぞれ統合した場合どこになるのか、それぞれ、現時点でもし、案があれば教えていただけないでしょうか。

市教委：白鳥台地区のことを例としてお話しさせていただくと、白蘭小学校が開校して5年、本室蘭中学校はかなり歴史がある学校となっております。自然と新しい校舎を活用したほうが良いという考えとなっております。小学校と中学校の統合ということで、中学生が小学校に入る際に気をつけなくてはならないことや、机の高さなどが改修の議題になります。どちらの学校を活用するかは全てのクラスが入るかという観点もありまして、どちらかという小学校の方がクラス数が多いですが、統合の形が決まった段階でメリットとデメリットを踏まえながら総合的に判断していきたいと考えております。

○もし、広い校区になった場合、端の家から端の家まで、かなり高範囲になると思うんですね。そうすると、通学の時間がかかなり変わってくると思います。そういったところも今の段階で考えているのか、今はただ児童生徒数のことだけでしか考えていないのかというのを教えていただきたいと思ひます。

市教委：通学区域については、まだ詳細な距離は測ってはいないのですが、みなと小学校と地球岬小学校の校区の端から端までで考えたときに、最大で6kmくらいの通学区域となることが想定されますので、スクールバスを活用して登校するお子さんもいるのではないかと想定しているところでございます。

○今のスクールバスの話でいくと広域の校区の学校になってもいいんじゃないかという感じの雰囲気聞こえるのですが、バスで通う子、歩く子、さらには近い子、遠い子、不公平感がかなり出てくるような気もするので、その辺は加味するべきだと思います。

質問ですが、まず一つ目は白鳥台地区では義務教育学校で2校を1校にするというので、持続可能な学校にしようという考えがあるのではないかと想像します。各地区それぞれに義務教育学校の開校を進めていく、そのことによって地域に学校が残ると思います。白鳥台地区で進めている義務教育学校を、この蘭中、蘭西地区にも活かしていくべきだなと基本的には考えておりますが、蘭中、蘭西地区の学校を4つから2つにするということに対しては現時点では反対です。これからも人数的にはちゃんと維持できるような地域もあるので、「義務教育学校」と「小中9年間の教育」があるなかで、二本立ての教育になるような気がします。「義務教育学校」と今までと同様の「9年間の教育」が両方存在することに対してどういう考えか、お聞きしたいと思います。

市教委：子どもたちの学校教育上の課題を解決するために、室蘭市では小中連携教育というのを進めようとしてきました。ただ連携教育だと、お互いの教育過程の9年間の系統性というところまでたどり着かないように感じました。例えば、中学校の先生が小学校に行き、出前授業ですとか、英語の授業に協力する等、その程度の連携となってしまって、結局、小学校と中学校の義務教育の9年間の最終的なゴールを、小学校の先生と中学校の先生方が一緒に共有するということまでいかなかったのが現実だと思います。私たちが申し上げています、小中一体となった教育というのは、小学校の先生も中学校の先生も、義務教育の最後の十五歳の姿に向けて、どんな資質能力をその中学校区で育てるべきなのかということをしっかり議論いただいて、それを9年間の中に位置づけていただいて、9年間でしっかり力を積み上げて十五歳の姿にしようというのが、小中一体となった教育の狙いになります。たまたま、白鳥台地区は義務教育学校の設置を目指し、校舎は一つにできましたが、室蘭全体で見ると小学校と中学校の校舎が一つにできない地域も存在していますので、今、校長先生方をお願いしているのは、校舎は別々であっても、先ほど申し上げましたように、9年間の義務教育のゴールをしっかりと小学校と中学校で目指した教育を考えてくださいということです。また、それを令和7年度に市内の小中学校一斉に行いますので、令和5年度、6年度は小中一体の教育をどのようにしていったらいいのか検討し準備を行う期間としております。

何を申し上げたいかと言いますと、校舎が別々になっても、校舎が一緒になっていったとしても、小中一体となった教育を進めることには変わらない。それを室蘭の学校教育にしようと思っているところです。それに合わせて子どもたちが抱えている課題というのは、小中学校だけでは解決できないだろうというふうに思っています。改めて家庭の力、それから地域の力というものを今一度学校教育の中に参画する。計画の段階から参加をいただいて、子どもたちにとっては様々な人との関わりの中で学校教育の課題も解決していきたいと思えます。繰り返しになりますが、校舎の形はどうであったとしても、小中一体となった教育と家庭地域が参画して学校と一体となった教育というのは、子どもが多い地区であっても、少ない地区であっても、これは令和7年に一斉に足並みを揃えていくという計画をしているということはご理解いただきたいと思えます。

○今の説明は理解しましたが、運営上校舎がひとつではなくてもできる、また、白鳥台のように施設一体型でやるところもあるということは理解します。その中で義務教育学校という考え方を今後も児童生徒数が維持されているところでも同じように進めていくという考え方でよろしいでしょうか。

市教委：そのとおりです。

○先ほどお話しされている中で、地域との関わり合いという話がありましたけれども、西中学校区にある町会について協議会名簿を見ますと、皆さん連合町会単位で出席されてますよね。対象の範囲が広がると単町会単位で出席してしまうと人数が多くなるから、連合町会単位で出席しているのかなと想像しました。蘭中の町会は、5町会しかなく数は少ないですが、校区の

範囲が広くなればなるほど学校と地域との関わり合いをもてるのか疑問に思います。コミュニティスクールや学校運営協議会も含めた中で、今後考えられる部分もあるのではないかと思います。

天沢地区、御前水地区、御崎地区の地球岬小学校のお子さんたちは、今はスクールバスで通っております、バスの送り迎えの部分で子どもを見守ったりしていますけれど、子どもたちが学校に通う姿が少なくなるという部分で、地域とのつながりが、これまでよりも正直言って薄まってきているんじゃないかなというふうには思っています。校区がさらに広がってくると、町会の方もどんどん、子どもたちと接する時間が少なくなってくるのではないかと感じています。

校区を広域化すると、学校と地域との関わり合いをこれまでどおりの関係性を築きながらやれるのかなという懸念もありますし、蘭中地区は町会も5つしかなく、生徒数も少ないですが、おかげさまで、友好的関係を築けているのかなと思っています。ですから、大規模にして持続可能な学校を維持するんだという考えは理解しますが、小規模で維持していくということも、地域のことを考えると非常に重要な観点なのかなと思います。あとは先ほどから皆さんも言われている通り、主役は子どもたちですので、今後の学校教育や環境も含めてどう検討していくかは、この推進協議会の中で協議していきたいと思っています。色々腹案は考えておりますが、今後考え方が変わるかもしれませんので、回数を重ねるごとに皆さんと議論しながら、考え方を決めていきたいと思っています。

最後に質問ですが、計画案でいきますと、令和6年の7月あたりに市の教育委員会へ方針案の承認を図るという計画になっております。設置要項と別に会議規則のようなものはありますか。協議会へ参加している方々が全員承認すれば分かりやすいのですが、意見が割れた場合というのは何か取り決めがありますか、今後、協議会の中で決めていかなければならないものでしょうか。

市教委：真っ二つに意見が割れてしまうようなことがないように、皆様で同じ方向を向けるように話し合いを進めていきたいとは思っておりますが、意見が割れてしまったときにどうするかは、皆様にご意見を伺いながら決めていきたいと思っています。義務教育学校の視察に行った際には、義務教育学校を設置するのであれば、小学校と中学校が一体となった校舎にすることが良いというのは、どこへ行っても聞こえてきますが、今、校長先生たちには離れている学校でも小中一体となった教育について、どのような教育ができるのか。また、ということがチャレンジできるのか準備していただいております。

ご意見いただいた、地域との関係性。これも本当に懸念される場所です。校区が広がっても同じように抱えていく課題だと思いますので、そういった課題の解決策も皆様と一緒に検討していければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○以前に絵鞆小学校のPTA会長と室蘭西中学校のPTA会長を務めまして、こちらの地区の統合にずっと関わってきました。さらにはコミュニティスクールの推進につきましては北広島市の西部小学校へ行きまして、コミュニティスクールのあり方を学んできました。そこで、学校づくり指針には、不登校や自己有用感の低下、適正規模の維持が困難などのいろいろな問題があげられていますが、小学校も中学校もクラスずつの学校について、クラス数が増えれば問題は解決するというふうに教育委員会はお考えでしょうか。そのように考えているのであれば、統合はスムーズにいくのかなと思っています。

市教委：小さい規模の義務教育学校と、それから適正な規模の小学校と中学校とのメリット・デメリットの比較の話になるかと思いますが、今開設に向け協議を進めている、白鳥台の義務教育学校の一番のデメリットは、9年間環境が変わらない、クラス替えができないというのが一番のデメリットとなっております、児童生徒が問題なく過ごしている時は良いのですが、何かうまくいかないことがあったときに、変わるきっかけがなく、そのようなところを懸念しております。なので、適正規模の学校だと、クラス替えができることによって学校に行きづらかった子どもが、学校に行きやすくなるというメリットが想定できると考えております。

○質問ですが、私は小学生の子どもが二人おりますが、一人の親として協議会へ参加しようとは思っていましたが、ただ、立場上は町会の推薦を受けて出てきたという形です。子どもたちの教育を第一に考えるのは基本だと思いますが、商店街や町会の立場として、例えば学校が災害時の避難場所であったりするかと思います。その場所がなくなると地域にとっては良くないことだと思うので、そういった意見や議論をしてもいい場所なのか、それとも、子どもの教育だけに絞って議論していく場所でしょうか。

市教委：子どもたちの通う学校ですから、それに関連した部分であれば広くご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えております。

○災害・防災関連の議論はまた別機会に議論するという認識でよろしいでしょうか。学校は防災に深く関わる施設だと思うんですよ。資料を見ると教育関連のことしか記載がないように感じたので、災害・防災のことは考慮せず議論していくのは疑問に感じました。

市教委：防災についての考え方というのは大変重要だと考えております。まずは子どもたちの学習環境を優先的に考えていただきまして、方向性を決めていく中で防災ですとか、その他の観点につきましても、併せて議論していくようにしたいと考えております。

○子どもたちのための協議会だと思いますが、子どもたちに意見を聞いたりする機会はないですか。

市教委：白鳥台地区の例になりますが、大きな方向性が協議会の中で決まりまして、具体的には白蘭小学校を改修して活用しようと考えております。その改修をする中で、実際に本室蘭中学校の子どもたちが白蘭小学校のほうに来て、特別教室を見てもらったり、実際に座ってもらって動作の確認をしてもらったり、トイレの個室の高さも見てもらいました。見学に伴い、出た意見なども吸収させていただいて、施設の改修等に反映させていただきました。子どもたちの意見を聞くというのは大変重要なものだと考えておりますので、本協議会でも子ども達の意見を聞く機会は設けたいと考えております。

○学校の統廃合のパターンがいくつか示されていますが、統廃合をした場合に経済的にどれほど効果があるのかデータはありますか。また、もし経済的にメリットが出る場合には、子どもたちの教育に何か資することがあるのか伺います。

市教委：申し訳ございませんが、具体的な金額は持ち合わせておりません。基本的に学校の運営に係るコストというのは児童生徒数にもよりますが、高熱水費ですとか各種設備の点検に係る費用となり、数千万円規模というところもございます。決して安い金額ではございませんので、経済的なメリットについてはそれなりの金額になると思っております。

子どもたちの教育に資することがあるかという質問については、教育の分で浮いたお金については教育関連の事業で使用したいと思ってはいるのですが、市の一般財源というものは、教育以外のものにも使われております。その中で優先度を決めまして、市議会の方にもお諮りしながら使わせていただいておりますので、統合により浮いたお金全額を教育関連事業に充てることは難しいと考えております。

一般財源という難しい話をしまして分かりづらくなったと思いますけれども、ただ、一般論として、2つの学校を1つにすると1つの学校分のコストが浮くので、この分のメリットは出てきますので、市全体で使い方を考えるんだということを申し上げたんですけども、今後、財政部局等との協議とはなりますが、浮いた分を子どもたちに回せる分が増えるということだけは間違いなく言えることなので、統合により子どもたちに回せるお金が増えるということだけは申し上げることができそうです。

○市の児童生徒数推計は令和20年度まで出ていると思いますが、例えば4つの学校を2つにするといったときに、令和20年度までの数値を見ておけば良いという考えのもと、こういった

推計になっているのでしょうか。また、令和20年度ぐらいに4校が2校になったとして、さらにその後も、もっと児童生徒が減るかもしれないので、もっと先まで推計して考えた方がよいのかなと思いました。

市教委：昨年生まれた子どもたちの数で推計する場合は、令和18年度まで推計可能となっております。今年生まれてくる子どもたちの人数は分かりませんので、予測値で令和20年度まで作成はしていますけれど、それ以降は具体的な数字が作れないのが正直なところです。この6年間で室蘭市内全体で生まれてきている子どもの数は400人を切るような状況です。9年後を想定すると単純計算で9年間で400人で掛けると3,600人の児童生徒しかない状態です。現実はいずれも下回るだろうという状況ですので、市内全体でどうしたら良いのかというお話をさせていただいているところです。昨年の出生数は376人だったと思います。その数字を聞いて早急に検討していかなければならないと強く思ったところでございます。

○私は絵鞆小学校のPTA会長を長く勤めておりまして、絵鞆小学校の目の前には祝津商店街という保護者が集まる商店街がありました。今はみなと小学校ができましたが地域は寂れる一方で、統合などにより悲しい思いをします。そういったことが分かった上で、教育委員会がこういう話を持ち上げてきたんだというのは重々承知しております。様々な課題が見えますので、それを良い方向にまとめていきたいなと思っております。蘭中地区の皆様の商店街の話等を聞いてますと、数年前に我々も同じような経験をしてきており、気持ちは十分わかりますので、一緒に協議を進めていきたいなと思っております。

#### 5. 今後のスケジュールについて説明（船橋総務課長説明）

<終了>

No.	分野	区分	氏名	区域/備考	出欠		
1	まちづくり (15名)	蘭西 地域町会 (9名)	港南町会 青少年育成部長	前野 延康	【構成町会：絵鞆町会、祝津町会、港南町会、増市町会】 ・絵鞆町全区域と祝津町3丁目16～18番 ・祝津町1丁目、2丁目の全区域、祝津町3丁目1番～16番、祝津町4丁目の全区域 ・港南町全区域、築地町124番地の2、133番地～138番地の9 ・増市町1丁目、2丁目全区域	出席	
2			絵鞆町会	増田 雅巳		出席	
3			小橋内町会	文化部長	真田 昭	小橋内町全区域 築地町138番地11～59（24を除く）、築地町89番地30、31、40、70～99	出席
4			みなと六町連合会	港町会	出村 清美	【構成町会：緑町会、西小路町会、沢町会、港町会、泉町会、海岸町レインボー町会】 ・緑町全区域 ・西小路町1番8号、15号～17号、2番～9番、10番1号～28号（10号～14号を除く）、11番～36番、海岸町3丁目10番8号、11号、12号 ・沢町全区域、海岸町2丁目7・8番の一部、西小路町10番の一部 ・海岸町3丁目5番の一部、7番～14番（但し、10番は一部）、西小路町1番の一部、沢町3番の一部 ・海岸町2丁目2番、3番、5番、6番、7番の一部、9番、沢町4番1号の一部、幕西町1番1号の一部 ・海岸町1丁目全区域、海岸町2丁目2、3、4番の一部（道道699号線沿い）、海岸町3丁目1、2、3、4番全区域、5、6番の一部（崖下側）、中央町1丁目1番の一部	出席
5				沢町会	西村 美和子		出席
6			中央六町連合会	中央町三丁目町会	多田 裕一郎	【構成町会：幕西町会、室蘭中央通り会、中央町浜町会、中央町三丁目町会、常盤町会、清水町町会】 ・中央町1丁目4番、幕西町全区域 ・中央町1丁目4番から2丁目7番までの一部、海岸町2丁目4番から中央町2丁目6番まで的一部分 ・中央町1丁目2番～5番、中央町2丁目3番～11番 ・中央町3丁目1番1号から8番1号まで ・常盤町全区域、中央町2丁目7番1号～5号、17号～25号、中央町2丁目8番1号～5号、21号～25号 中央町2丁目9番1号～4号の区域、・清水町2丁目1番から16番まで	出席
7				中央町浜町会・室蘭中央通り会	弭間 年文		出席
8			蘭西七町連合会	山手町見晴町会 副会長	鈴木 寛	【構成町会：幸町会、本町会、栄町会、舟見町西部町会、舟見町中部町会、山手町見晴町会、山手町公園自治会】 ・幸町全区域、幸町1番2号～幸町16番8号迄 ・本町1丁目、2丁目全区域 ・栄町全区域 ・舟見町1丁目全区域 ・舟見町2丁目全区域 ・山手町2丁目全区域、3丁目の市立病院から西部 ・山手町1丁目全区域、3丁目の一部（市立病院、市立病院西部3丁目6.12番以外）	欠席
9				栄町会	小林 由美		出席
10		蘭中 地域町会 (6名)	日鋼新生活運動 協力会	日鋼新生活運動協会 理事長	水戸 信也	日本製鋼所アパート、母恋北町1丁目2番5～7号、9番3号、御前水町1丁目3番8号、5番1号、6番3、4号、7番9号、御前水町2丁目5番7号、9番15号、10番3号、6号、14番16号～18号、御崎町2丁目19番6号、19号、20号	出席
11			新富町会				
12			母恋北町町会	母恋北町町会 総務副部長	小澤 悠	室蘭市母恋北町1丁目から3丁目までの全区域（ただし、1丁目2番、9番、13番及び15番の一部を除く） 及び室蘭市母恋南町2丁目27番を区域とする。	出席
13			母恋南町々会	母恋南町々会 会長	鈴木 和彦	母恋南町全区域（2丁目27番を除く）	出席
14			御前水町会	御前水町会	山田 奈都世	御前水町全区域、日鋼従業員住宅地区を除く	出席
15			御崎町会	厚生部長	定廣 孝佳	御崎町全区域	出席
16	社会福祉 (7名)	蘭西地区青 少年健全育 成推進協議 会 (4名)	港南地区 青少年健全育 成推進協議 会 事務局長	山内 雄仁		出席	
17			港南地区 青少年健全育 成推進協議 会 主任児童委員	田辺 安子		出席	
18		中央地区 (2名)	中央地区青 少年健全育 成推進協議 会 会長	川合 徹		出席	
19			中央地区青 少年健全育 成推進協議 会	溝江 周平		出席	
20		蘭中地区青 少年健全育 成推進協議 会 (3名)	蘭中地区 (3名)	蘭中地区青 少年健全育 成推進協議 会 事務局長	小山内 琴美		出席
21				蘭中地区青 少年健全育 成推進協議 会 事務局次長	山田 奈都世	※御前水町会と兼務	
22				蘭中地区青 少年健全育 成推進協議 会 地球岬Jr-Ⅱ児童館指導員	齋藤 宏		出席
23	小学校 関係者 (8名)	学校教育 (学校)	学校長	村山 修平		出席	
24			みなと小学校 (4名)	みなと小学校PTA 会長	吉田 昌弘		欠席
25		みなと小学校PTA 副会長		高橋 典子		出席	
26		みなと小学校PTA 副会長		植田 友香		欠席	
27		学校教育 (学校)		学校長	森 晶子		出席
28		地球岬小学校 (4名)	地球岬小学校PTA 会長	北村 祐貴		出席	
29			地球岬小学校PTA 副会長	住田 なつ美		出席	
30			地球岬小学校PTA 総務委員長	齋藤 優香		出席	
31	中学校 関係者 (8名)	学校教育 (学校)	学校長	赤松 政彦		出席	
32			室蘭西中学校 (4名)	室蘭西中学校PTA 会長	村上 希美子		出席
33		室蘭西中学校PTA 生活部長		高橋 信也		出席	
34		室蘭西中学校PTA 研修部長		鈴木 和香		出席	
35		学校教育 (学校)		学校長	松岡 賢晃		出席
36		星蘭中学校 (4名)	星蘭中学校 PTA 会長	小山内 琴美	※蘭中地区青少年健全育成推進協議会と兼務		
37			星蘭中学校 PTA 副会長	定廣 真理		出席	
38			星蘭中学校 PTA 監査	新野 晴美		出席	